

3年SSHクラス 7月最終成果発表会

1 目的

SSH クラスでの課題研究の成果をまとめて発表し、発表内容を外部指導者と協議することで科学的思考力・判断力・表現力の深化を図ることを目的とした。

2 概要

3年生 SSH クラスの生徒が課題研究Ⅲとして実践してきた課題研究の成果を発表しあう中で、「知の深化」の資質・能力を高めた。

(1) 対象

【発表】3年1組 SSH クラス生徒

【聴講】2年1組 SSH クラス生徒、本校職員

【指導・講評】

青木 悠樹（群馬大学数理データ科学教育研究センター・センター長・教授）

板橋 英之（群馬大学副学長・大学院理工学府教授）

田口 光正（高崎量子応用研究所 先端機能材料研究部・次長）

田中 正弘（筑波大学 数学マネジメント室・准教授）

(2) 会場

翠巒会館ホール、レクチャールーム

(3) 日程

令和6年7月11日（木）

13時00分～ 開会式

13時10分～ 課題研究成果発表・随時指導助言

15時10分～ 指導・講評 閉会

15時30分～ 評価・コメント入力

(4) 方法

プレゼンテーション6分、質疑・応答5分、入れ替え1分（合計12分）

(5) 発表テーマ

班	研究テーマ
No.1	玉入れにおける最適な動きとは～物理エンジンと機械学習による分析
No.2	匂いの広がり方はモデル化できるのか？
No.3	サイコロの出る目を予測するには
No.4	3Dプリンターを用いたフェラムネの研究
No.5	無駄をなくしたクイックルワイパーの開発
No.6	コマの「ブレード」は運動量変化にどのような影響があるのか
No.7	EnglishLens（論理・実践編）
No.8	モニタリングハンター～溺死事故をゼロに
No.9	古文単語アプリの開発
No.10	100均のチャンバラ剣はなぜ爆音がなるのか
No.11	利き足と非利き足のキックの比較
No.12	ボールの回転とバウンドの高さの関係性
No.13	テキストマイニングの活用方法～大学入試共通テスト英語の分析
No.14	合同式における指数と底の交換が成立する条件の考察
No.15	ベースギターの奏法と音色の変化
No.16	ペットボトルキャップの形状と飛び方の関係

